

災害発生後も 子どもたちには 学びが必要で

「高校には、いかない」

東日本大震災のとき、ある中学3年生がつぶやきました。
就職して、家と仕事をうしなつた親を助けたい、と。

その当時、進学をためらう子どもたちのためにと
全国から日本ユネスコ協会連盟にお送りいただいた寄付で
5000人を超える子どもたちの学びを支援することができました。

「災害子ども教育支援募金」。

これから先、いつ起こつてもおかしくない災害がやってきたときも、
いつもどおりの学校生活を、進学の道を、将来の夢を守りたい。
どんなときも学びをとめない、明るい未来につなげるための
温かい支援をお待ちしています。

いつか起こる災害から
子どもたちの未来を守るために。

災害子ども教育支援募金



公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟